

秋田県警察等と連携して高齢者事故防止チラシを作成

～ドライブレコーダー・安全運転サポート車の活用と交差点での注意を呼び掛け～

日本損害保険協会東北支部秋田損保会(会長：中條 美恵子・損害保険ジャパン株式会社秋田支店長)(以下「秋田損保会」という)では、2017年に秋田県警察・秋田県・秋田県損害保険代理業協会と、「シルバーセーフティサポート協定」を締結し、連携して高齢者の事故防止を進めてまいりました。

今年度も高齢者に向けた事故防止啓発チラシ(表面において、運転診断などが可能な「ドライブレコーダー」や、衝突被害軽減ブレーキなどの機能が付いた「安全運転サポート車」の活用を訴え、裏面では、秋田県内の高齢者事故のうち約7割が交差点で発生していることを踏まえ、交差点での注意を訴えています。)を54,000枚作成し、事故が多くなる年末から交通事故防止を呼び掛けています。

作成した事故防止啓発チラシのうち、40,000枚を秋田県警察に、5,000枚を秋田県に贈呈しています。秋田県警察では、交通安全運動など啓発イベントでの活用のほか、県内15か所の警察署において、高齢者宅を訪問のうえチラシを提供し、交通事故防止を直接呼び掛けることとしています。

秋田損保会でも、本啓発チラシも活用し、引き続き、高齢者の事故防止を一層推進してまいります。



チラシ表面



チラシ裏面

チラシのPDFをご使用の際は、以下からご覧いただけます。

https://www.sonpo.or.jp/news/branch/tohoku/2022/pdf/20221226_chirashi.pdf